

## 正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[ 300 ]	[ 300 ]	[ 0 ]
基本財産受取利息	300	300	0
特定資産運用益	[ 94,300 ]	[ 136,536 ]	[ △42,236 ]
特定資産受取利息	94,300	136,536	△42,236
事業収益	[ 61,207,300 ]	[ 129,134,520 ]	[ △67,927,220 ]
し尿業務収益	11,992,200	12,270,960	△278,760
ごみ業務収益	49,215,100	53,570,160	△4,355,060
施設管理業務収益	0	63,293,400	△63,293,400
受取補助金等	[ 414,450,555 ]	[ 417,098,573 ]	[ △2,648,018 ]
受取補助金	414,450,555	417,098,573	△2,648,018
雑収益	[ 25,085 ]	[ 17,530 ]	[ 7,555 ]
受取利息	17,590	17,004	586
受取配当金	400	400	0
雑収益	7,095	126	6,969
経常収益計	475,777,540	546,387,459	△70,609,919
(2) 経常費用			
事業費	[ 446,017,048 ]	[ 518,384,109 ]	[ △72,367,061 ]
役員報酬	5,070,204	6,337,755	△1,267,551
給料手当	299,844,171	306,534,096	△6,689,925
福利厚生費	55,834,436	56,525,591	△691,155
賃金	8,960,597	15,896,598	△6,936,001
報償費	10,000	5,000	5,000
旅費	6,600	6,520	80
備用品費	8,151,748	17,563,197	△9,411,449
燃料費	11,932,066	11,944,708	△12,642
食糧費	2,646	10,890	△8,244
印刷製本費	161,700	216,000	△54,300
光熱水費	454,718	38,712,971	△38,258,253
修繕料	10,332,201	23,996,018	△13,663,817
薬品費	19,690	28,435	△8,745
通信運搬費	205,122	254,714	△49,592
手数料	996,707	1,472,999	△476,292
損害保険料	3,178,200	3,749,380	△571,180
委託料	0	233,200	△233,200
使用料及賃借料	2,238,923	2,449,168	△210,245
負担金	37,530	41,040	△3,510
補償費	0	9,700	△9,700
退職給付費用	31,040,937	26,018,147	5,022,790
公租公課費	1,020,000	899,350	120,650
消費税	2,427,102	2,190,725	236,377
減価償却費	4,091,750	3,287,907	803,843
管理費	[ 29,760,492 ]	[ 28,003,350 ]	[ 1,757,142 ]
役員報酬	3,671,136	2,413,285	1,257,851
給料手当	14,209,615	14,399,711	△190,096
福利厚生費	3,031,410	3,226,624	△195,214
報償費	14,463	4,665	9,798
旅費	47,600	45,780	1,820

科 目	当年度	前年度	増減
交際費	0	37,756	△37,756
備用品費	536,542	281,401	255,141
燃料費	117,340	81,984	35,356
食糧費	1,394	1,180	214
印刷製本費	122,852	74,476	48,376
光熱水費	369,617	381,170	△11,553
修繕料	0	34,560	△34,560
薬品費	1,760	3,912	△2,152
通信運搬費	222,482	214,101	8,381
手数料	2,210,196	2,149,532	60,664
損害保険料	171,160	129,930	41,230
委託料	1,056,884	953,424	103,460
使用料及賃借料	1,585,952	1,226,920	359,032
負担金	239,380	239,380	0
研修費	126,670	110,905	15,765
退職給付費用	1,748,646	1,643,364	105,282
公租公課費	74,000	56,500	17,500
支払利息	201,393	188,817	12,576
減価償却費	0	103,973	△103,973
経常費用計	475,777,540	546,387,459	△70,609,919
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	0	0
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
III 正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却の方法は、定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

① 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算し、会計基準変更時差異(167,013,812円)は、15年で費用処理している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産引当預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	207,834,134	32,000,000	10,468,221	229,365,913
小 計	207,834,134	32,000,000	10,468,221	229,365,913
合 計	210,834,134	32,000,000	10,468,221	232,365,913

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
基本財産引当預金	3,000,000	(3,000,000)	—	—
小 計	3,000,000	(3,000,000)	—	—
特定資産				
退職給付引当資産	229,365,913	—	—	(229,365,913)
小 計	229,365,913	—	—	(229,365,913)
合 計	232,365,913	(3,000,000)	—	(229,365,913)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	25,163,123	25,163,121	2
建物付属設備	6,884,650	6,818,649	66,001
構築物	1,872,000	1,871,999	1
車両運搬具	35,128,000	24,067,580	11,060,420
工具器具及び備品	9,842,500	2,716,791	7,125,709
合 計	78,890,273	60,638,140	18,252,133

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金 運営補助金	亀岡市	—	414,450,555	414,450,555	—	—
合 計		—	414,450,555	414,450,555	—	—

6. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

① 退職給付債務	△ 302,464,465円
② 会計基準変更時差異の未処理額	11,134,256円
③ 退職給付引当金 (①+②)	△ 291,330,209円

(3) 退職給付費用に関する事項

① 勤務費用	21,655,329円
② 会計基準変更時差異の費用処理額	11,134,254円
③ 退職給付費用 (①+②)	32,789,583円

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

(5) 会計基準変更時差異の処理年数 15年